

● 広報

おくがほ



2010

1

NO.663

謹賀新年

「過疎」の姿を探るシンポジウム

～守り続けたい集落の魅力と底力～

小国町教育委員会 / (財)自治総合センター



新しい「過疎」の姿を探る シンポジウム

守り続けたい集落の魅力と底力

今

月は、先月に引き続き、新しい「過疎」の姿を探るシンポジウムのなかから、基調講演「自然の多様性は未来の可能性」及びセッションⅡ「地域資源の活用による地域活動の展開と集落活性化」をご紹介します。

前号でお知らせした新しい「過疎」の姿を探るシンポジウムセッションⅠでは、山村に古くから伝わる生活文化が人々の生活に重要な役割を果たしてきたことを再認識し、集落の支援には、外の人々との「協力・交流・連携」が必要であると確認できました。

今回は、森での公益的活動を通して、全国に広く自然の持つ価値を発信している作家C・W・ニコル氏の基調講演「自然の多様性は未来の可能性」と、セッションⅡ「地域資源の活用による地域活動の展開と集落活性化」についてお知らせします。

セッションⅡ

「地域資源の活用による地域活動の展開と集落活性化」

地域資源は、工夫を重ねて加工することによって価値が高まります。さらに、地域の人々の技術を磨こうとする意識が高まり、地域の活力が高まるという循環を招きます。改めて本町の持つ豊かな地域資源を見つめ直すとともに、先進的な事例から、その仕組みづくりを学ぶことが必要です。

セッションⅡでは、コイディネーターに町の総合計画策定に指導をいただいている株式会社玄代表取締役

講演要旨

今朝、ブラインドを開けたらこの景色。ここは素晴らしいところですね。日本の自然は、めいめいの地域に素晴らしい驚きがありますが、地元にいるとそれに慣れて、忘れてしまうものです。

私の出身地である英国南ウェールズでは、石炭の採掘により環境が破壊され、人が住まなくなった地域がありました。その地域を森に再生したところ、川がきれいになり、湧水も出るようになり、生き物が戻ってきました。そして、誰も住んでいなかった石造りの長屋には人が戻ってきました。人は美しいところに住みたがるものです。

長野県黒姫で私は、荒れた森を購入し、間伐や川の掃除など、生態系の復活に取り組みました。花が咲くと昆虫が来る、虫が来ると小鳥が来る、小鳥が来ると種を落としてくれる。新しい環ができるといういろんな生物が参加します。7種類だった山菜は、去年の調査では137種類。絶滅危惧種も23種類戻ってきました。

森を訪れるお客さんには、地元でとれた山菜やキノコ料理を出しています。やはり、地元のものが一番喜ばれます。また、虐待を受けた子どもや障がいのある子どもを森に招待する活動を行っています。そういう子どもたちが森に来ると、元気になります。森は日本人のこころのふるさとだと思います。

英国の何の産業もない、自然しかない一つの町に、今、ミシュランの星を持っているレストランが3つあります。田舎は治安が良く、美味しい食べ物があります。色んな人が、田舎に戻ってきています。豊かな自然は、美味しい食べ物を生み、人を呼び寄せます。自然の多様性は、様々な可能性につながります。

だんだんと可能性が豊かになる、これだけの恵みがある、これだけ素敵な人たちがいる、これだけの友達もいる。日本の可能性はどんな国よりも大きいと私は信じています。

の政所利子氏を迎え、長野県天龍村、岩手県洋野町、地元小玉川地区で展開されている取り組みについて、事例が紹介されました。



関 京子氏

天龍村柚餅子生産組合組合長の関京子氏は、次のように話されました。

「武士の携帯食として伝統ある柚餅子（ゆべし）を次世代に残そうと、生活改善グループを結成し、生産に取り組みました。

国の重要無形民俗文化財に指定されている冬祭りが、過疎の影響で開催できなくなってきた状況がありましたので、柚餅子には、お祭りに登場する天公鬼（てんこうき）という鬼の名前を付けて、柚餅子とお祭りのことを一緒に

お話できるようにしました。また、柚餅子を入れるかごを、地域のおばあちゃん達に編んでもらっています。おばあちゃん達の藁細工の技を活かしているのです。こうして、おばあちゃん達が生涯現役で輝き、仕事ができる仕組みもつくりました。柚餅子を通して、お金では買えない『人』という大きな宝ものを得ることができました」

岩手県洋野町商工会大野支所長の関向廣志氏は、次のように話されました。



関 向 廣 志 氏

「岩手県旧大野村（洋野町）は、ヤマセという気候のせいで、貧しい農業を強いられてきた地域で、村の男たちは、大工の出稼ぎをすることで生



計を立てていました。出稼ぎをせず、村のなかで家族と一緒に暮らせる方法はないかと、大工の技を活かした民芸品づくりを展開しましたが、出稼ぎ収入に見合う生活には至りませんでした。

このような状況のなか、工業デザイナーの秋岡芳夫先生の提案をうけて、自分たちの周りにある資源を活かしながらものづくりをし

ていく、一人一芸の村づくりが始まりました。さらに、木工デザイナーの時松辰夫先生が、村に三年間住みこみ、木工のろくろを指導してくれました。制作した木の器は、一人一芸の村づくりの自作自用の基本理念から、村の子どもたちの学校給食の道具として、新しく建て替えられた大野第一中学校に導入しました。このことが、マスコミ等を通じて全国に大きな反響を巻き起こし、全国からの注文が殺到するようになり大野木工の販路が急激に拡大していきました。

その後も、木工製品の需要が高まり、出稼ぎをせず、専業で取り組めるようになりました。

大野木工を通して、全国的なネットワークができましたし、全国の大野村ファンの広がり、村人の自信や誇りにつながっていき、さらにモノづくりや地域づくりへと大きく展開して行きました」

地元である小玉川地区自然教育圏整備促進協議会元会長、大字小玉川総代の伊藤良一氏は、次のように話されました。



伊藤良一氏

「小玉川は、マタギ文化を継承してきた地域で、全国有数の豪雪地帯です。春は山菜、秋はキノコ、冬は動物をとり、自然と共生してきた地域です。また、名湯飯豊温泉には、県内外から多くの湯治客が訪れていきます。

昭和四十九年に町と観光協会が、それまで非公開で行ってきた熊祭りを公開し、全国に発信しました。しかし、動物保護団体からの批判があり、継続する予定だったのが、三回で終わりました。

その後、昭和六十年の小玉川小中学校建設時に、小玉川自然教育圏整備促進協議会を設立し、これを期に地域活性化を図るため、熊祭りを再開しています。

小国のマタギは、熊の生息調査をしながら、伝統ある狩猟をおこなっています。こうした伝統文化を体験してもらおうと、マタギ体験ツアーも展開しています。

かつてこの集落には、移住者を受け入れないという制約がありました。ここに住んでみたい人がいたら、ぜひ住んでもらいたい、地域の考え方が変わってきました。今後、この地域の情報を発信していきたいと考えています」

コーディネーターの政所氏は、全国の過疎地域で取り組まれている事例のなかから、高齢者の栄養補給と郷土食の継承を目的に開いた「朝飯食堂（青森県浅虫温泉）」の事例や、廃校を生活用品を扱うコンビニと居酒屋として活用した事例（高

知床鍋鍋地区」などを紹介し、次のように話されました。



政 所 利 子 氏

「事例では、集落の山の暮らしのなかでの人のつながりや、外からの応援者などの力で地域資源が商品化されています。また、自分の暮らしの足元にある伝統や歴史をもう一度見直すことで、すばらしい付加価値が生まれています。地域資源は、生かそうと思えばいろんな生かし方があるということをまさに実践されていると思います。都市を支えているのは過疎地。大自然と暮らしの知恵が支えているというのを、これを機に声を大きくして広げたいと思います。自分たちが今、立っているところの宝物に気づき、みんな

力を合わせ、光を当てていくことが大切です」

シンポジウムを 終えて

今回シンポジウムで事例を発表した伊藤氏に、小玉川での取り組みと、今回のシンポジウムの感想をお聞きました。

「小玉川地域では、春にはわらび園の山焼き、冬には歳頭焼きやかんじき歩きなど、地域の伝統文化を体験できるイベントを実施しています。

参加者は、新潟県や宮城県など県外から訪れるかたが多く、マタギ文化や自然豊かなこの地域に大きな関心を持っているようです。

こうしてイベントを実施して気付いたことは、普段やっている集落の行事が、外部の人には、大きな魅力になっているということですね。また、参加者と交流を深めていくうちに、参加者

が色々なアイデアを出してくれたりもします。外部との交流が自分たちの地域資源を再確認する機会であると実感します。

この地域の資源といえば、自然や、マタギなどの伝統文化、そしてそれを継承してきた人々です。人と自然が共生してきた地域として、そうした資源に、さらに磨きをかけ、活性化を図りたいと思っています」



小玉川 春の伝統文化体験

新しい過疎の姿

人口減少、少子高齢化など、過疎地域を取り巻く環境が、年々、厳しさを増してきています。今回のシンポジウム全体を振り返れば、過疎地域に住む人々の生活や自然環境が、日本の国土を守り、人々を支え続けてきたということを再認識できました。

そこに住む人々だけで地域の活力を高めていく構図から、過疎地域の持ついる自然という普遍的な資源の優位性を評価し、活用していく多様な人々の力が、外側から加わり、地域の魅力を高めていく。そうした姿が、新しい「過疎」の姿であるべきだと考えられます。

町では、先進的事例を踏まえ、取り組みがてきた考え方や仕組みづくりを本町の環境に合った内容として、どのように取り入れていくか、検討を深めていきます。

小国町議会

第八回町議会臨時会が、十一月二十五日に、十二月（第九回）定例会が、十二月三日から八日まで開催され、いずれも原案どおり可決されました。主な内容は次のとおりです。

第八回 町議会臨時会

給与条例を一部改正

現下の社会情勢を鑑み、町一般職員給与条例等を改正しました。これにより、給与月額は若年層と医師を除いて平均〇・二%、期末勤勉手当は年〇・三五カ月分の引き下げを行いました。さらに、自宅分の住宅手当も廃止しました。特別職並びに議員の期末手当においては、年〇・二五カ月分の引き下げを行いました。

十二月（第九回）町議会定例会

一般会計に

千百六十四万一千円を追加

一般会計に、千百六十四万一千円を追加しました。この結果、補正後の一般会計予算の総額は、六十三億九千二百五十万円となりました。主な内容は、次のとおりです。

▼ワクチン接種費用を助成

新型インフルエンザ対策として、一歳から高校生までが対象となる二回のワクチン接種の半額を助成します。

▼直売所を別棟で設置

道の駅「白い森のおぐに」内に建設する農産物直売所を、別棟として単独設置することになりました。このため、新たな基本設計業務の所要額を追加しました。

▼全国瞬時警報システムを導入

自然災害や弾道ミサイル情報などの緊急情報を、通信衛星を用いて国から市町村へ伝達する「全国瞬時警報システム」の導入経費を追加しました。

旭日単光章を受章 故米山源太郎さん（増岡）

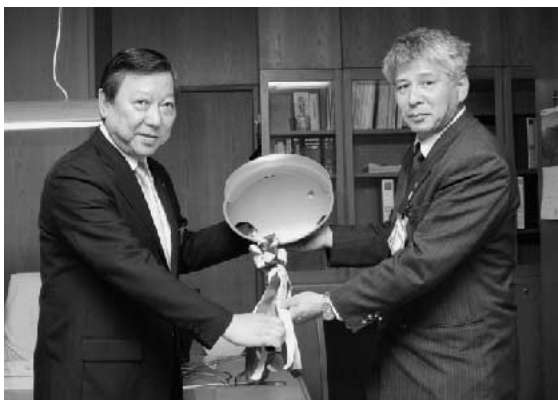


昭和五十四年四月から平成七年四月まで、小国町議会議員を務められた米山源太郎さん（平成二十一年八月九日死去）に、旭日単光章が授与されました。

J A山形おきたま 町にカーブミラー を寄贈

山形おきたま農業協同組合と全国共済農業協同組合連合会が、十一月二十六日、町にカーブミラー四基を寄贈しました。

両者は、交通安全・事故防止に役立ててもらおうと交通事故対策事業を展開しており、毎年、カーブミラーを寄贈しています。寄贈されたカーブミラーは、



地域の事情を考慮して、設置・交換を進めていく予定です。

新年を迎えて

小国町長

小野 精一



新年明けましておめでとう
ございます。

皆さまにおかれましては穏
やかな新春をお迎えのことと
お慶び申し上げます。

昨年は、国の政権交代によ
り、地方自治体の各種制度や
仕組みが転換していく、大き
な変化の年となりました。

また、今日の地方を取り巻
く環境は、人口減少や少子高
齢化の進行、所得環境の悪化、
雇用の不安定など、依然とし
て厳しい状況が続いています。
こうした諸事情を踏まえ、
小国町では、平成二十年九月
以降、約九億円にのぼる経済

対策を講じながらも、各般の
行財政改革に取り組み、自立
できる力を蓄えていくまちづ
くりを進めてまいりました。

迎えた新年は、「人と自然
が織りなすやさしい暮らしが
あるまち」の実現を目指しな
がら、引き続き住民生活の安
定に直結する景気・雇用対策、
住民の暮らしを支える医療福
祉や子育て支援や教育の充実、
町を築いてきた原単位である
集落の維持・保全等を重点的
に取り組んでまいります。

また、本年は、昭和三十五
年に旧津川村を併合し、現小
国町が施行され五十周年の節
目にあたります。先人の皆さ
ん方が築き上げてくださった
この美しいふるさとを、町民
の主体的な協働と交流と連携
を図りながら、しっかりと後
世に引き継いでいきたいと思
います。

町民の皆さまには、本町の
まちづくりに対し、一層のご
理解とご支援を賜りますよう
お願い申し上げます、新年のあい
さつといたします。

仁科清實さん（尻無沢）・吉田好江さん（兵庫館）

選挙制度百二十周年記念

総務大臣表彰・感謝状を受賞

元小国町選挙管理委員会委員長の仁科清實さん（尻無沢）
が総務大臣表彰を受賞されました。また、元小国町選挙管理
委員会委員長職務代理者の吉田好江さん（兵庫館）には、総
務大臣感謝状が贈られました。

仁科さんは、昭和六十二年に選挙管理委員に任命され、平
成七年から平成十九年までは、委員長を務められました。

吉田さんは、昭和六十二年に選挙管理委員に任命され、平成
七年から平成十九年までは委員長職務代理者を務められました。
両者ともに、多年にわたり、選挙の管理執行に精励された
として受賞されたものです。

仁科清實さん



吉田好江さん



H22
4.1より

レジ袋の無料配布を中止します 事業者・市民団体・町が協定を締結



レジ袋削減に係る協定書調印締結式が、十二月十六日、役場で開催されました。

締結式では、事業者（おぐにレジ袋削減推進協力店会加盟店）、市民団体（町衛生組合連合会、町商工会、町くらしを考える会）、町の三者が地球温暖化防止やごみの減量を図ることを目的に、レジ袋の無料配布の中止に向けた協

定を締結しました。

この協定に基づき、事業者は、平成二十二年四月一日よりレジ袋の無料配布を中止するとともに、過剰包装を自粛する活動を推進していくこととしています。また、市民団体は、マイバッグの持参を町民に呼びかける等の運動を拡大していくこととしています。町では、事業者及び市民団体と連携協力し、町民の皆さまの理解と協力を得られるよう、広報等の支援をしていくこととしています。

おぐにレジ袋削減推進協力店

- 電興株式会社
- 株式会社金十商店
- 大津電機店
- 渡部肉店
- (有)小玉川イワナランド
- Yショップトラヤ
- 丸清鮮魚店
- 山又商店

(平成 21 年 12 月 16 日現在)

生ごみを堆肥化

モニター事業を実施中

町と町衛生組合連合会（本間芳夫会長）は、町内の可燃ごみ減量を目指し、生ごみを堆肥化するモニター事業を展開しています。



生ごみの堆肥化に取り組む山口さん

モニター事業は、平林地区の婦人会「平林水芭蕉会」（坂上勝子会長）の会員など、十三世帯で、可燃ごみから生ごみを分別し、その量を把握するとともに堆肥化に取り組んでいます。

平林地区の山口子子さん

（岩井沢）は、「十二月一日から、モニター事業に取り組んでいます。生ごみは、細かく刻んで計量した後、ぼかし肥料と一緒に容器に入れます。一週間発酵させると畑にまける状態になります。（今は冬期なので保管しています）」

堆肥にすると聞いたときは、匂いが心配でしたが、思ったほど匂いは気になりませんでした。このモニター事業は、平成二十二年一月で終了となりますが、今後も引き続き、取り組んでいきたいと思っています」と話してくれました。

二月・三月の

モニターを募集

町では、平成二十二年二月・三月に生ごみの堆肥化に取り組んでいただけるかた（五人）を募集しています。希望されるかたは、一月二十五日（月）まで、町民課町民生活担当へお申し込みください。

ふるさとを題材にした 作品がダブル受賞

渡部利之さん（沢中出身・河北町在住）



沢中地区出身の芸術家・渡部利之さんが、昨年の第51回ミレー友好協会フランス本部展「審査員特別賞」と同協会第17回日本国内展「大阪市長賞」を受賞されました。

このたび受賞した作品は、ふるさと沢中を題材に、20年余の歳月をかけて制作した絵画『ふるさとの道』です。

渡部さんは、「鑑賞されるかたがたの心の安寧に寄与することこそ絵画の持つ王道。ご覧になれるかたの心が、温かく穏やかに、安らかに、そして優しくなってくださればと心から願っています」と話してくれました。



『ふるさとの道』

この情景は、私が生まれ育ったふるさとをモチーフに、心の中で昇華させた初夏の心象風景です。この道は、幼い頃から数え切れないほど行き来した温かい思い出がいっぱい詰まった道であり、また、病に倒れた敬愛する母を背負って歩んだ万感胸にこみあげてくる道でもあります。

この道の行く先には、大いなる希望と大いなる安らぎが待っております。この道は、まさに現世の平安浄土へと続く祈りの道であります。

渡部さんの作品は、日本写真倶楽部ホームページ(<http://www.nihonbijutsu-club.com/t-watanabe/>)に掲載されています。ぜひご覧ください。



白田 仁さん（緑町） 海外でのボランティア 活動が評価

旧東芝セラミックス株式会社を退職後、海外技術協力員として、中国などで活動をした白田仁さん（緑町）が、これまでの実績を評価され、（勲）日本シルバーボランティアズ（丸山俊二理事長）から感謝状が贈呈されました。

白田さんは、「会社勤めのなかで得た知識と技術を活かし、中国などでプレス機の修理などをボランティアで行ってきました。

海外での活動は、言葉が通じないことなどの苦労はありましたが、熱意をもって仕事をすれば、信頼関係を築くことができるのだと実感しました」と活動を振り返りました。

防犯標語を表彰

町防犯協会（小野精一会长）が主催する防犯作品コンクールの表彰式が、十二月十六日、総合センターで開催されました。

これは、地域ぐるみで防犯意識を高めようと、小・中学生を対象に毎年実施しているものです。

式では、応募総数百四十二点のなかから、ポスター三点、標語十八点が選ばれ、入選した小・中学生に賞状や盾などが贈られました。



11/20

地域文化学の成果を発表 ～小国高校町民報告会～



伝承歌を披露する生徒

地域文化学の学習成果を発表する小国高校町民報告会が、11月20日、総合センターで開催されました。

小国高校では、大学の教授などの指導を受けながら、地域の自然や文化を再認識する地域文化学に取り組んでいます。

報告会では、地域の自然や歴史、民俗芸能などについての学習成果を発表したほか、発掘・採譜した小国の伝承歌も披露されました。

11/29

講話と実技、交流大会も ～町民健康スポーツ祭～

（仮称）おぐにスポーツクラブ設立準備委員会などが主催する町民健康スポーツ祭が、11月29日、町民体育館で開催されました。

スポーツ祭では、「いつでもどこでも…日常ながら運動で体も脳も若返る」と題して、日常ながら運動推進協会代表の長野茂さんが、家に居ながらもできる運動法などについて、実技を交えて講話を行いました。また、講話の後には、ダンベル体操とヨガの実技体験のほか、スポーツ吹き矢などの交流大会も行われました。



普段よりもちょっと意識して動くのがコツと語る長野さん

12/4

心の健康づくり

～玉川地域サロン～



高齢者のうつについて、紙芝居を上演

玉川地域サロンが、12月4日、玉川コミュニティセンターで開催されました。

このサロンは、地域が主体となり、地域住民の交流や健康づくりを目的に定期的に開催しているものです。

今回は、町健康福祉課と置賜保健所の保健師が講師となり、「心の健康づくり」をテーマにした講話が行われたほか、高齢者のうつについて分かりやすく解説した紙芝居も上演されました。

参加したかたは、「みんなが集まり、交流することも心の健康に良いのだと再確認できました」と話していました。

12/19

子ども達が6つのブースを体験 ～だがしや楽校～



思い思いのデザインで、クリスマスカード作り



抹茶たてにも挑戦

町地域教育力体験活動推進協議会などが主催する「だがしや楽校」が、12月19日、健康管理センターで行われ、町内の小学1年生から6年生まで計34名が参加しました。

だがしや楽校では、子どもたちが手軽に「趣味・特技・遊び・作品」を体験できるブースを設置。体験活動を通じて、世代を超えた交流や、社会のルールを学ぶことにより、コミュニケーション能力が育まれるとされています。

子ども達は、同協議会スタッフの指導のもと、「クリスマスカード作り」や「抹茶たて」、「スライム作り」など、6つのブースを体験しました。



子どもたちに大人気のスライム作り



だがしや楽校に参加したボランティアサークルさくらの皆さん（左が木村さん）

「だがしや楽校では、スライム作りのブースを設置しました。ブースの内容は、子ども達が家に持ち帰り遊べる物をテーマに、インターネットで情報収集しながら、メンバーで相談して決めました。子どもたちにも好評だったようです。

冬期は、お年寄りの家の除雪などのボランティアなどにも積極的に関わりたいです」と話してくれました。

この人に聞く

ボランティア

サークルさくら

代表 木村 智聡さん

募集

町営住宅入居者募集

■あけぼの団地

2DK 1戸

(高齢世帯向け)

▼対象 所得制限がありますので、お問合せください。

▼家賃 所得と家族構成により決定します。

小坂町勤労者住宅

2K 3戸

家賃 三万三千元

岩井沢勤労者住宅

3DK 2戸

家賃 四万二千元

▼対象 小坂町・岩井沢ともに、町内の事業所にお勤めのかた

■敷金 家賃の3カ月分

■募集期限 1月12日(火)

■入居時期 1月下旬以降

■問合先 地域整備課 建設管理室へ

ウインタースポーツ教室参加者募集

教室参加者募集

■日時 1月16日(土)～

2月20日(土) 毎週土曜日

※計6回開催

■場所 横根スキー場

■対象者

▽アルペンスキー種目・小学1年生～6年生(定員40名)

▽スノーボード種目・小学4年生～6年生(定員20名)

※定員を超えた場合は抽選となります。

■参加費 無料(ただし、スポーツ安全保険料六百元が必要です)

■申込方法 1月12日(火)午後5時まで、町民体育館に申し込んでください。

■問合先 町民体育館へ

平成22年度国有林モニターの募集

モニターの募集

東北森林管理局は、国有林の管理・経営に皆さんの声を役立てていくため、モニターを募集しています。

■募集人員 48人

■募集期限 1月31日(日)まで

■任期 平成22年4月～平成23年3月

■内容 アンケートへの回答、国有林モニター会議への出席

■その他 応募資格、応募方法など、詳しくはお問合せください。

■問合先 東北森林管理局国有林モニター係 (TEL 018-83612274)へ

催し

新春囲碁大会

■日時 1月30日(土) 午前9時～

■場所 老人福祉センター

■申込・問合先 社会福祉協議会 (TEL 62-2825)へ

町民登山

冬の百石山

■日時

2月13日(土)午前9時～

伊佐領小学校入集合(送迎バスを運行します。午前8時30分宮の森会館、午前8時45分JR小国駅)

■定員 50人

■参加費 一人千五百円

■申込締切 1月25日(月)

■申込・問合先 小国山岳会 高橋弘之(TEL 62-3898)へ

西置賜就職面談会

開催案内と参加企業募集

早期就職を願うかたがたの

ための就職面談会を開催します。お気軽にご参加ください。また、長井・西置賜地域の参加企業を募集しています。

参加企業の申し込み締め切りは、1月29日(金)です。

■日時 2月9日(火) 午後1時30分～午後4時

※午後1時～受付

■会場 タスパークホテル2階 コンベンションホール

■問合先 長井公共職業安定所 (TEL 84-8609)へ

ご案内

小国町指名競争入札

参加申請を受付けます

■受付期間

2月1日(月)～2月26日(金)

■受付時間 午前9時～12時 午後1時～4時

■有効期間 平成22年度

■その他 今回の受付は、町内業者のみです。必要書類などについては、電話または町のホームページで確認してください。

■問合先 地域整備課 建設管理室へ

管理室へ

総合センター図書室から

●新着図書

- ◆認知症論集 三好 春樹
- ◆デパートへ行こう! 真保 裕一
- ◆図地反転 曾根 圭介
- ◆蝶々囁々 小川 糸
- ◆きのうの神さま 西川 美和
- ◆命の教室 池田まき子
- ◆ちか100かいだてのいえ

いわいとしお

◆やまがた人物館4

山形県連合小学校長会

- ◆自治の未来をめざして 高橋 和雄
- ◆小国の伝承歌 小国高等学校

●休館日…毎週月曜日、祝日

子育て支援 センターから

★あそびの広場★

■日程 1月5日、12日、

19日「子育て講座・簡単
クッキング」、26日

■時間 午前10時～11時30分

■場所 健康管理センター

■対象者 0歳から入園前のお子さんとお家のかた

★なかよし広場★

■日程と場所

1月7日、21日

総合センター
1月14日、28日
おぐに保育園

■時間 午前10時～11時30分

■対象者 0歳から入園前のお子さんとお家のかた

★こども愛ランド★

■日時 2月6日(土)

■場所 健康管理センター

■内容 クッキーづくり・人形劇鑑賞「プチトマト」

■申込期限 2月4日(木)

問合せ

子育て支援センターへ

求 人 情 報

左の表は、12月20日現在の求人内容です。無効になつていく場合もありますのでご了承ください。※詳しいことは、ハローワーク長井(電話84-8609)へ

事業所名	職種	求人数	勤務時間
安部工業(株)	型枠大工・一般作業員	4人	8:00～17:00
小国町役場	居宅介護支援専門員	1人	8:30～17:00
特別養護老人ホーム さいわい荘	介護員	1人	9:15～18:15ほか
第一ホール小国店/南コンズカンパニー	ホールスタッフ	2人	8:30～17:30ほか
小国運輸機工	軽トラック冷凍車による食材宅配	1人	8:30～17:30
遠藤建設(株)	土木施工管理技士	1人	8:00～17:00
(有)蔵王ストアー	レジ係	1人	8:45～18:00
大和建設運輸(株)	土木施工管理技士	1人	8:00～17:00
(株)ケープロダクツ	営業	1人	9:00～18:00
(株)金十商店	事務全般	1人	9:30～18:30ほか
斎藤建設(株)	土木施工管理技士	1人	8:00～17:00
(有)白い森よこね物産品直売所	販売・接客	3人	9:00～18:00間5時間程度
小国食糧(株)	店頭販売員	2人	8:30～13:00ほか

ふれあい警察の日

- 日時 1月10日(日) 午後3時～午後5時
- 場所 アスモ イベント広場
- 内容 110番体験コーナー、振り込め詐欺体験コーナー、警察クイズコーナーを開設予定です。
- 問合せ 小国警察署 (TEL 62-0110) へ

今月の納税 2010.1

1月の税金等の口座振替は、次のとおりです。振替日の前日まで、指定の口座に入金してください。

- 1月26日(火) 水道料
- 2月1日(月) 町県民税(4期)、国民健康保険税(7期)、後期高齢者医療保険料(7期)、介護保険料、下水道料・簡易水道料、住宅使用料、保育料等
- 問合せ 税務出納課 税政管理室へ

保健カレンダー

■ 問合先 健康福祉課へ

期 日	内 容	時 間	対象のお子さん(生まれた月)	場 所
2月24日(水)	2歳児歯科健康診査	13:00~13:15	H19年6月、7月、8月	健康管理センター ※持ち物 母子健康手帳
2月26日(金)	4ヵ月児健診	13:10~13:20	H20年10生まれ	
	1歳児健診	13:00~13:10	H21年2生まれ	

2010年 世界農林業センサスにご協力ください。

世界農林業センサスは、我が国の農林業の生産・就業構造や実態を明らかにし、農林行政の基礎資料整備のため、5年ごとに実施している調査です。

■ 調査対象

町内で農業や林業を営む農家・林家・法人

■ 調査方法 1月中旬頃より調査員が訪問させていただき、聞き取り調査を行います。その結果、調査対象となる場合は調査票のご記入をお願いします。

■ 調査内容（基準日：平成22年2月1日）

- 世帯員の構成と就業状況
- 農地、山林の所有と利用状況
- 農林産物の生産販売の状況
- 農業・林業の労働力
- 農作業受託の状況 など

■ その他 調査票への記入内容については、統計法に基づき厳重に管理されます。

■ 問合先 総務企画課政策企画室へ

横川ダム「きてくろ館」

～冬期開館時間のお知らせ～

横川ダム管理支所では、冬期間の「きてくろ館」開館時間を短縮させていただいております。

■ 期 間 平成22年3月31日(水)まで

■ 開館時間 10:30~15:00

■ 問合先 横川ダム管理支所(65-2363)へ

小国町公民館連絡協議会 研修会のお知らせ

田沢頭地区、黒沢地区、大宮地区による地域づくりの事例発表を行います。

■ 日 時 平成22年1月24日(日) 13:30~

■ 場 所 総合センター 集会室

■ 対 象 どなたでも参加できます。

■ 問合先 教育委員会事務局へ

相 談

年金相談

■ 日 時 1月20日(水)

受付 10:30~14:30

■ 場 所 役場町民相談室

■ 対応者 社会保険事務所職員

■ 問合先 町民課住民窓口担当へ

消費者相談会

■ 日 時 1月23日(土)

10:00~15:00

● 相談時間は一人30分~1時間

■ 場 所 役場町民相談室

■ 相談員 司法書士 舟山健蔵氏

■ 相談料 無 料

■ 申込み 事前に申込みが必要です。

■ 申込・問合先 町民課町民生活担当へ

～入院する(している)かたへ～ ご存じですか？ 入院費用の軽減措置

後期高齢者医療に該当するかたのうち住民税非課税世帯のかたは、入院費用が軽減される制度があります。

「限度額適用・減額認定証」(ピンク色)を医療機関に提示し、入院費用の軽減を受けることができます。認定証の交付を受けるには、できるだけ入院前に町民課へ申請にお出で下さい。なお、入院中の場合は、ご家族が申請することができます。

■ 対象者 住民税非課税世帯のかた

■ 有効期限

申請月の初日から平成22年7月31日まで

■ 申請に必要なもの

被保険者証(水色)、印鑑

■ 問合先 町民課 国保医療担当へ



- 小国町役場 062-2111(代) 062-5464
- 行政管理室 062-2112 ●政策企画室 062-2264 ●住民窓口担当・町民生活担当 062-2260
- 国保医療担当 062-2261 ●税政管理室 062-2403 ●出納室 062-2406
- 農林振興室 062-2408 ●商工観光室 062-2416 ●建設管理室・上下水道室 062-2431
- 建設技術室 062-2432 ●議会事務局 062-2448

国民健康保険

知

っていますか？ 高額療養費の支給

医療費の自己負担額が高額になった場合、申請が認められると限度額を超えた分が支給されます。

- 申請に必要なもの 被保険者証、印鑑、口座番号の分かるもの、医療機関の領収書

70歳未満のかたの場合

- ①同じ人が同じ月内に同じ医療機関で支払った自己負担限度額が下表の限度額を超えたとき、その超えた分が支給されます。

対 象	自己負担限度額（月額）	4回目以降限度額
一 般	80,100円＋1％ ※2	44,400円
上 位 所 得 者 ※1	150,000円＋1％ ※2	83,400円
住 民 税 非 課 税 世 帯	35,400円	24,600円

※1…上位所得者とは、基礎控除後の総所得金額が600万円を超える世帯です。

※2…医療費が267,000円（上位所得者は500,000円）を超えた場合は、その超えた分の1％を加算します。

- ②同じ世帯で、同じ月内に、21,000円以上の自己負担額を2回以上支払った場合、それらを合算して限度額を超えていれば、超えた分が支給されます。

- ③同じ世帯で過去12ヵ月間に、4回以上高額療養費の支給を受けた場合、4回目以降の限度額が適用されます。

70歳以上75歳未満のかたの場合

70歳以上75歳未満のかたは、外来（個人ごと）の限度額を適用後に世帯ごとの限度額を適用します。

対 象	病院・診療所、歯科の区別なく合算	
	自己負担限度額（月額）	
	外来（個人ごと）	外来＋入院（世帯ごと）
一 般	12,000円	44,400円
現 役 並 み 所 得 者 ※	44,400円	80,100円＋{(総医療費－267,500円)×1％}
低所得者 住 民 税 非 課 税 世 帯	8,000円	24,600円
住 民 税 非 課 税 世 帯 で 世 帯 所 得 が 一 定 基 準 以 下 の 世 帯		15,000円

※現役並み所得者とは、課税所得（各種控除後）が年145万円以上のかたとその世帯のかた。過去12ヵ月間に、4回以上世帯の限度額を超えて支給を受ける場合、4回目以降は世帯限度額が44,400円となります。

- 入院する場合 70歳未満のかた及び70歳以上の低所得者については、限度額適用認定証などの提示により、窓口での支払い額が限度額までとなります。入院前に町民課へ申請し、認定証の交付を受けてください。

- 申請・問合先 町民課 国保医療担当へ

戸籍のまど

誕生おめでとございます。

折戸	齋藤	椎那	（幸則）
小国町	大久保	里恋	（登志江）
小国町	青木	帆花	（恵子）
兵庫館	佐々木	ふあり	（伸真由美）
北	今	終斗	（久直義子）
宮の台	井上	結貴	（昌裕矢子）
杉沢	佐藤	天	（裕彦子）
田沢頭	荒木	幸采	（一也美）
新屋敷	和田	樹奈	（弘陽沙美）

結婚おめでとございます。

（岩井	（金井	邦夫
長野	徳原	綾
長井	青木	基之
舟渡	佐藤	涼

おくやみ申し上げます。

宮の台	鈴木	木口	スエ	エ	(94)
田沢	木口	山道	道恵	恵	(83)
越中	舟山	モト	ト	ト	(91)
緑町	渡邊	次郎	郎	郎	(92)
小国小坂	渡部	ソノ	子	子	(74)
緑町	伊藤	正二	二	二	(92)
五味沢	佐藤	力	力	力	(96)
石ヶ	今	鉄男	男	男	(79)
あけぼの	川上	たみ	ま	ま	(85)
尻無	齋藤	きみ	み	み	(88)
幸玉	伊藤	ふさ	さ	さ	(79)
叶水	伊藤	しず	い	い	(85)
五味沢	伊藤	進	進	進	(48)
五岩	佐藤	幸吉	吉	吉	(76)
あけぼの	新野	じう	う	う	(87)
	齋藤	和久	久	久	(64)
		ハナ	子	子	(81)

人口のうごき

人口	男…	4,494人(－5)
	女…	4,731人(－6)
	計…	9,225人(－11)
世帯数		3,259世帯(－4)

平成21年11月30日現在

介護予防 一口メモ

閉じこもりの 予防について

「閉じこもり症候群」といわれる言葉があります。

生活の活動空間がほぼ家の中だけになると活動性が低下し、心身の機能が弱り、寝たきりなどにつながる恐れがあります。そこで、寝たきりや認知症につながらないように予防しようという考え方がひろがっています。

- ★体を丈夫に保つ（適度に運動する等）
- ★活動意欲を持ち続ける（役割をはたす、楽しみをもつ、趣味を深める等）
- ★社会参加（人とのつながりを持ち続ける）などはとても大切なことです。

現在小国町では、社会福祉協議会が中心となり21か所の地区公民館などで「いきいきサロン」を開催しています。老人福祉センターでも月1回開催されています。また健康管理センターでも月1回「健康のつどい」を開催しています。どうぞお気軽に参加して下さい。（日程は直接お問い合わせ下さい。）出かける場所がある、逢いたい人と話をするなどのほりあいをもち、心身ともに若さを保ちつづけましょう。

お問い合わせ 地域包括支援センター 61-1001

編集後記

あけましておめでとございます。表紙の写真は、私が十二月十日、出勤前に樽口峠で撮影してきたものです。天候にも恵まれ、朝日を浴びた山々、下に広がる雲海がとてもきれいでした。改めて小国の自然の美しさを肌で感じました。

さて、広報では、今年も町内の明るい話題をたくさんお伝えできるように心がけていきたいと思っております。みなさんからの情報もお待ちしております。

（加藤）